

令和6年奥能登豪雨に係る
第12回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 本日15時時点で、お亡くなりになられた方は13名となった。連日、捜索活動にあたっていただいている自衛隊、消防、警察の皆さんに、改めて感謝申し上げます。依然として安否不明者が2名おられる。引き続き、人命救助に全力をあげてください。
- 浸水被害が発生した仮設住宅を修繕するため、輪島市の宅田第2団地、第3団地においては、昨日から一時的な退去が始まった。その他の団地についても、鋭意準備を進めている。

輪島市と珠洲市を通じてお聞きしている被災者のご意向を踏まえ、速やかに修繕に着手することとしており、遅くとも年内には、希望者全員が再び入居できるよう、全力で取り組んでいく。
- 河川に堆積した流木については、これまでに、河原田川、塚田川、町野川、浦上川、八ヶ川、鳳至川の6河川において除去作業に着手しており、昨日から新たに、町野地区の中心部を流れる鈴屋川でも着手した。引き続き、一日も早い流木の除去完了に向け、作業を急いでほしい。
- また、道路については、国交省とともに、珠洲市大谷町の沿岸部に通じる上黒丸大谷線を啓開し、本日、緊急車両や地域の方々の通行を確保した。尽力いただいた国土交通省に感謝申し上げます。
- 宅地などに堆積した土砂については、市町の社会福祉協

議会や NPO、地域団体等の連携のもと、ボランティアの皆さんの力をお借りしながら、かき出しや搬出に集中的に取り組んでおり、改めて、連日のご助功に感謝申し上げます。

一方で、ボランティアの皆さんの力だけに頼る状況ではない。手作業が難しい大規模な土砂については専門の工事業業者に依頼する必要がある。ボランティアと工事業者の両輪で作業を進めてほしい。

各市町においては、工事業者への業務委託費用の補助を受けられる国土交通省のメニュー「堆積土砂排除事業」等を積極的に活用いただき、土砂の排除を一層加速させていきたい。

- 今回の豪雨については、これまで「低気圧と前線による大雨」としていたが、特に奥能登の2市1町で顕著な被害をもたらしたという実態に合わせて、本日から「令和6年奥能登豪雨」と呼称することとした。

2. 会議最後の発言

- 先ほどの記者会見でもインフラの復旧状況を説明したが、引き続き、関係者一丸となって、一日も早い復旧に向けて全力をあげていただきたい。
そして、被災者の皆さんに、復旧の見通しをできる限り早く、詳しくお示しできるよう努めてほしい。
- 2次避難については、輪島市と珠洲市による意向調査が終わり次第、速やかに受け入れできるよう、準備に万全を期してほしい。
- 連日、多くの皆さんにボランティアに参加いただきしており、改めて感謝申し上げたい。

引き続き、市町と連携し、現地でのコーディネート機能が円滑にいくように、常に状況を把握し、しっかりと対応してほしい。

- 先ほど気象台から、明日の日中、県内で一時的に強い雨が降るとの説明があった。地震や豪雨の影響で、少しの雨でも土砂災害や洪水災害の危険度が高まるおそれがある。

各市町では、最新の気象情報に留意し、予防的観点から、早めに避難指示等を発令するほか、避難情報が確実に住民の皆さんに届くようお願いしたい。

避難所や仮設住宅など、被災される前と違う場所にお住まいの方は、改めてハザードマップを確認し、早めの対応をお願いしたい。